

第一回カンテ・デ・ラス・ミナス音楽祭 日本予選優勝記念  
名古屋市民芸術祭2014参加 フラメンコ公演

ESTUDIO KEIKO PRESENTS  
FLAMENCO LABO vol. 1

▲ triángulo ▼

生と性、死、嫉妬、欲望

"Triangulo"、三角形程孤高で美しく、切ない形はない



1. 祈りから始まり、呪いで終わる

3. 人形 憎悪 魑魅

5. 歪曲 饗宴 自己愛

7. 誘惑 決断

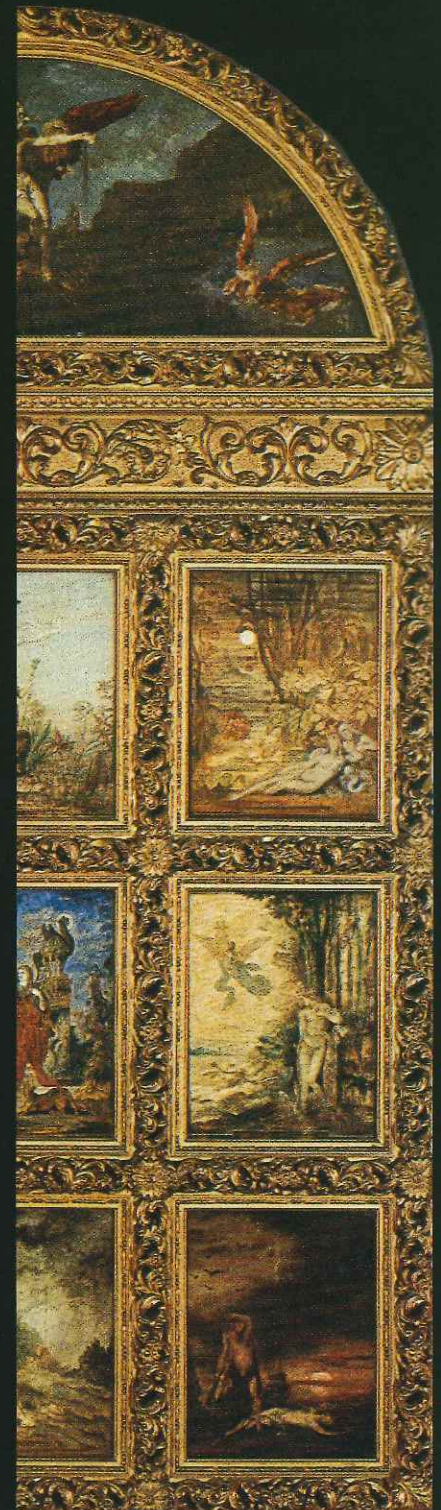
9. 呪いから始まり、祈りで終わる

2. 再会 支配 所有

4. 苦渋 逡巡 自己愛

6. 未来 でもそれは夢

8. 魂の愛 世界で最も美しい瞬間



## cante DIEGO GOMEZ

81年生まれ。15歳でカンタオールとしてデビュー。現在はフェルナンド・モレノのフラメンコカンパニー"Sabor Jerez"に所属し、アンダルシアを中心に活動するほか、カサ・パタス、コラル・デ・ラ・モレリアなどのタブラオにも出演。02年、カンテ・デ・ラス・ミナス国際フェスティバルで決勝進出。その後も来日をかさね、好評を博している。09・10年の来日時には3度のCon Sabor a Caiツアーに参加、大好評を得る。

## baile FUAN FERNANDEZ

10歳よりフラメンコを始める。ピラール・オルテガ、マノロ・マリン等有名な舞踏家に師事。2009年には第10回セビージャフラメンコ協会のコンクールで最優秀新人賞受賞。2011年、第11回ベルラ・デ・カディス・アレグリアスコンクールで優勝。現在は、ロス・カジョス、エル・コルドベス等スペインの著名タブラオでの公演と並行し、ロンドン、ジュネーブなどでも公演を行っている。

## baile 石川 慶子

早稲田大学在学中にフラメンコに出会う。アデラ・カンパージョ、アリシア・マルケス、ベレン・マジャ等に師事。2012年日本フラメンコ協会第21回新人公演奨励賞受賞。2013年公益財団法人豊田市文化振興財団文化新人賞受賞。2014年日本フラメンコ協会第一回カンテ・デ・ラス・ミナスコンクール日本予選優勝。来年2015年8月に行われるスペイン本選への出場資格を得る。2009年第5回、2013年第7回マルワ財団主催CAFフラメンコ・コンクールファイナリスト。現在はESTUDIO KEIKO石川慶子フラメンコスタジオを主宰し、舞踊活動(愛知・東京・大阪)、教授活動(愛知・岐阜)で活躍中。愛知県豊田市出身・元高校教師

## acordeón 檜山 学

1995年~2003年までイタリア、フランスに留学し本格的にアコーディオンを学ぶ。全イタリア・アコーディオン・コンクール優勝など、数々のコンクールで受賞を重ね演奏活動も始める。2002年には、シャンソンと映像を組み合わせたトリオでチリツアーを成功させる。帰国後は、様々なライブパフォーマンスやチャペルコンサート、アーティストのサポート、TVやCM音楽のスタジオワークなど、精力的に活動を広げている。Saxとのデュオユニット「Orso bruno」では、これまでに2枚のアルバムを発表している。また「オペラシアターこんにやく座」との共演など従来のアコーディオン音楽のイメージにとられない幅広い活動を展開。その確かな技術と深い表現力で今、最もアグレッシブなアコーディオニストとして、熱い注目を浴びている。2011年初のリーダーアルバム「Debut」をCALMOLA BOSCONIより絶賛発売中。

## 三味線 栗原 武啓

1973年横浜生まれ。父親の影響で幼少より音楽に触れながら成長する傍ら、6歳の頃より津軽三味線を習い始める。13歳の頃よりフラメンコギターを始めてフラメンコギターは20歳になるまではほとんど独学で学んだ。国内では高橋紀博氏、ファン・ソトに技術を学んでいる。渡西の際にはヘレスのギタリスト、アグスティン・デ・ラ・フエンテに多くを学んだ。2008年、日本フラメンコ協会主催フラメンコルネッサンスギター部門にて奨励賞を受賞。津軽三味線では2012年に全国大会合奏の部で準優勝している。



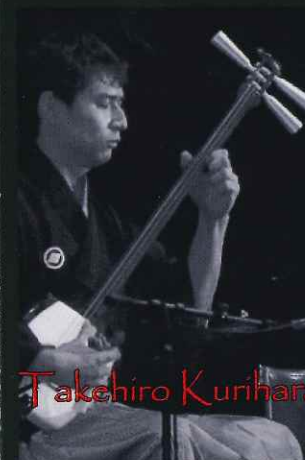
Diego Gomez



Juan Fernández



Manabu Higama



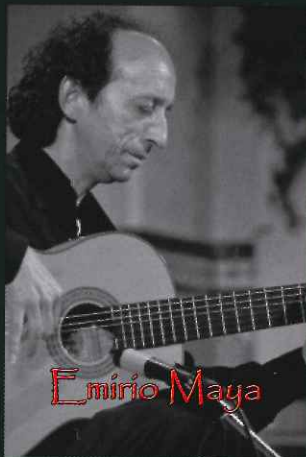
Takehiro Kurihara



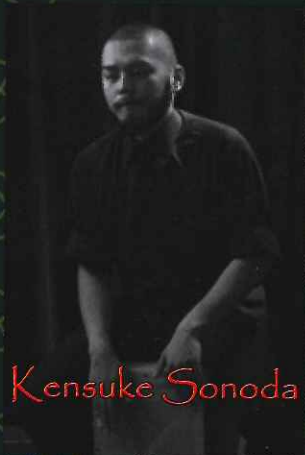
Keiko Ishikawa



Takara



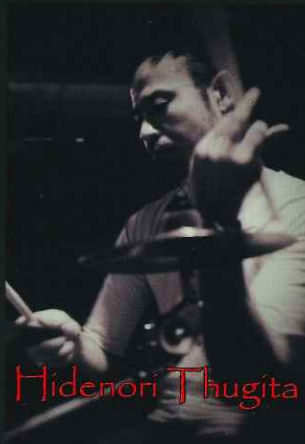
Emilio Maya



Kensuke Sonoda



Ariko Yara



Hidenori Thugita

### guitarra EMILIO MAYA

8歳の時からギターを弾き始め、12歳でランハロンのコンクールで最優秀賞を受賞。アンダルシアの様々なペーニャ・フラメンカなどで活躍し、カルメン・モントーヤ、ラロ・デハダ、エル・レレホアン・マヌエル・フローレス、エル・トロ、エンリケ・モレンテ等と活動。舞踊伴奏ではファン・ラミレス、ファン・アンドレス・マジャ、ラ・フェンサンタ・モネタらのステージを盛り上げ、2001年にはアントニオ・カナーレス、ファン・デ・ファンと共にブラジル公演を行った。その他の音楽コラボレーションとして、ホルヘ・パルドやルベン・ダントスと共にオルケスタ・アンダラーンに参加し、CD「アル・カンターラ」では才能を遺憾なく発揮している。2004年、待望のファースト・アルバム「テンプレ」を発表。エストレージャ・モレンテのアルバム「カジェ・デル・アイレ」にミゲル・オチャンドと共に参加。また、彼自身グループである「グルーボ・マヤ」ではヨーロッパ中で活躍し、人気を博している。マリオ・マヤの「Dia logo del Amargo」、ファン・アンドレス・マヤの「Furia Maya」「El Renacimiento」に参加。近年ではメキシコ、ベルギーパリで公演を行い、現在2枚目のアルバムを制作中。

### baile 屋良有子

早稲田大学在学中にフラメンコと出会う。その後スペイン留学を繰り返し、日本とスペインの舞台で研鑽を積む。スペインではアデラ・カンパージョ、ピラール・オルテガ、エル・トロンボ等、日本では松丸百合、森田志保に師事。2006年日本フラメンコ協会第15回新人公演奨励賞受賞。2007年マルワ財団主催 第4回CAFフラメンコ・コンクールにて第3位及び奨励賞W受賞。同年、クリスティーナ・ヘレン財団フラメンコ芸術学校に奨学生として留学。2008年セビージャ・ビエナルの並行プログラムでソロ公演を行う。2009年文化庁海外派遣員に任命される。帰国後、多くのライブ活動、ソロリサイタルを開催。屋良有子フラメンコ教室を開講し、現在主宰者として後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

### baile 宝

5歳から舞踊を始め、モダンダンス、ジャズ、バレエ等を学ぶ。15歳から5年間アメリカやカナダの芸術学校や舞踊学校へ留学し、モダンとコンテンポラリーダンスを専攻。2010年帰国後、稲田進氏に師事しフラメンコに転向。2011年奨学金でスペインのフラメンコ芸術学校へ留学。2011年第6回CAFフラメンココンクール奨励賞。2011年日本フラメンコ協会第20回新人公演奨励賞。2013年第7回CAFフラメンココンクール準優勝。現在ライブ活動、フラメンコとモダンダンスをベースに創作活動中。

### Cajon 園田 健介

幼少よりピアノを通して音楽を学び、11歳よりパーカッションに転向。その後、カホンを中心としたパーカッションによる音楽活動を行い、現在多数のライブやイベントで活躍中。

### percusión 次田 任徳

16歳から独学でドラムを始める。17歳の時にロカビリーに強烈に影響を受けシャッフルビートのきっかけから4ビートに魅せられながらJazzを学び始める。その後今のSTYLEの原型のキックケになるHip Hopとの出会いからターンテーブルとの即興に明け暮れスクラッチDJとのバトルに没頭。DJ Krushとのセッションや陶芸家やアート系のコラボレーションを経ながら民族音楽との出会い特にフラメンコに強く影響を受け始め、そこで出逢うアコーディオンとの共演から蛇腹に魅了され現在に至る。2013 イタリアのポルデノーネで開催されたアコーディオンフェスティバルに『coba』のサポートメンバーとして参加。その他日本のトップアコーディオニスト『檜山 学』とのユニットで国内のアコーディオンフェスティバル『Bellows Lovers night』に出演。

2014 **10.26** (sun)  
1部 14:30open 15:00start  
2部 18:00open 18:30start

全席指定 5,000円

# 名古屋市千種文化小劇場(ちくき座)

愛知県名古屋市千種区千種3-6-10

後援